

愛知生まれのいちご「愛きらり」

「愛きらり」は、愛知県農業総合試験場（長久手市）と愛知県経済農業協同組合連合会（以下「JAあいち経済連」という。）が共同開発した「愛経4号」のブランド名で、JAあいち経済連の登録商標です（登録商標第6614844号）。

1 品種の特徴

- 果実が大きく、果形の揃いが良い。
- 果皮は濃い赤色でツヤがあり、果肉も赤い。
- 収穫期間を通じて糖度が安定して高く、しっかりとした甘さがある。

2 新品種開発とブランド化の取組

- 販売単価が高い11月～12月及び厳寒期の収量が多く、大果で食味の良い品種の開発に農業総合試験場とJAあいち経済連が2015年から取り組み、2020年8月に開発が完了した。
- 愛知県いちご新品種ブランド化推進協議会が「愛知県産であること、特長である光沢感」をイメージして「愛きらり」と名付けた。
- 2022年9月にJAあいち経済連が商標を取得し、愛知県いちご生産組合連合会に所属している生産者のみが、「愛きらり」のブランド名を使用できる。
- 愛知県いちご新品種ブランド化推進協議会が県内で、各種PRイベントを実施し、「愛きらり」の認知度向上に努めている。

3 愛知県の「愛きらり」の栽培状況

- 東三河地域を中心に県内10産地で栽培しており、2024年作から本格出荷が開始した。

	2023年作	2024年作
栽培面積	2.7ha	13.7ha
出荷量	204 t (82万パック)	681t ※見込み (272万パック)

4 愛知県のいちごの生産状況と全国順位

- 2022年産の本県の出荷量は10,000t（全国4位）、作付面積は251ha（全国6位）、産出額は104億円（全国6位）となっている。

全国順位	出荷量 (t)		作付面積 (ha)		産出額(億円)	
	県名	値	県名	値	県名	値
1位	栃木県	22,900	栃木県	505	栃木県	277
2位	福岡県	15,900	福岡県	425	福岡県	242
3位	熊本県	11,100	熊本県 静岡県	293	熊本県	159
4位	愛知県	10,000 (6.7%)	—	—	長崎県	127
5位	長崎県	9,870	長崎県	257	静岡県	119
6位	静岡県	9,720	愛知県	251 (5.2%)	愛知県	104 (5.2%)
	全国	149,200	全国	4,850	全国	2,019

注：愛知県の欄の（ ）内は全国シェア

（出典：農林水産省令和4年産野菜生産出荷統計、生産農業所得統計）